

航空宇宙工学科 学会発表

【発表者について】アンダーラインは本学教員、研究員および技術職員、○は発表者、※は大学院生、卒研生または卒業生

学会名	5thInternational Workshop for Titanium Aluminides
演題名	Necessary Properties for Matrix TiAl in CVDSiC Fiber Reinforced Composites
発表者	○ <u>Keizo Hashimoto</u>
内容	5回目となるチタンアルミナイドの国際会議が東京工業大学竹山先生がオーガナイザーとなり、1週間にわたって東工大（大岡山）で開催された。参加者は150人程度の小さな国際会議だが、1つの会場での講演とポスターセッションが行われ、非常に密な議論が行われた。参加者は日本からの参加者が半分以下であり、米国、EU、中国からの参加者であった。特に、チタンアルミナイドがジェットエンジンの低圧タービンに導入され、その実績が着実に増加している現状が明らかとなった。現在開発されているジェットエンジンを含めて、今後、すべてのエンジンの低圧タービンがチタンアルミナイドにおき換わる勢いであり、米国のGE、英国のロールスロイス、ドイツのMTUなどが、設備と人員をかけ精力的な開発と商業生産が行われている